

小高区市街地整備基本計画(素案)概要

■整備コンセプト

利便性の高い市街地の中心部に安全・安心な日常生活を支援する機能を集約した「コアゾーン」を整備し、その周辺に定住を促す。

安全・安心で利便性の高い日常生活を支援する場所	地域経済の再生に寄与する場所
多世代が交流し住民の絆を深める場所	豊かな地域資源を生かし郷土愛を育む場所

■導入する機能と施設

●商業機能

生鮮3品を中心として買い物ができる共同店舗及びチャレンジショップを整備する。

●地域支え合い機能

ボランティア活動に参加しやすい環境を築き、元気な高齢者、学生、主婦などのボランティアが、高齢者への身近な生活支援、子育て家庭への支援、子どもの居場所づくり等を支える拠点機能を整備する。

●子ども達の居場所づくり機能

課外時間等における子ども(小学生、中高生)の居場所をつくり、子どもたちの心身両面での健全育成を図る拠点機能を整備する。

●健康増進機能

市民が自ら健康を維持し、子どもから高齢者まで幅広い世代が元気に暮らすための健康づくりをサポートする。

●歴史文化教育機能

東日本大震災の記録や記憶を後世に伝えるとともに、地域文化、観光資源など、地域内外への情報の玄関口としての機能を整備する。

【概算事業費】	事業費：約2,433百万円
・設計：約232百万円	・造園：約75百万円
・建築：約1,998百万円	・共通費：約63百万円
・土木：約65百万円	

※上記概算事業費には用地取得費、測量費、除却設計・工事費、周辺インフラ整備設計工事費は含まない。

導入機能	施設	面積
商業機能	店舗(生鮮、雑貨、直売)	約240m ²
	飲食(カフェ、軽食)	約61m ²
	製販一体型工房	約81m ²
	チャレンジショップ	約61m ²
地域支え合い機能	多世代交流サロン(学習室・ワークコーナー/図書コーナー含む)	約208m ²
	和室	約44m ²
	会議室	約50m ²
	貸オフィススペース	約56m ²
	事務室	約77m ²
子育て機能	屋内遊び場(幼児向け)	約142m ²
	相談室・見守り(事務室)	約57m ²
子どもの居場所づくり機能	屋内遊び場(主に小学生向け)	約314m ²
	学習室(多世代交流サロンに含む)	-
	レクリエーション室	約112m ²
健康増進機能	音楽室	約51m ²
	トレーニングルーム	約91m ²
	入浴施設	約260m ²
歴史・文化・教育機能	居場所スペース	約92m ²
	展示室(震災伝承、歴史、文化)	約65m ²
計		約2,062m ²

市街地整備ゾーン 詳細図



③施設計画（建物平面図等）

配置イメージ（※この配置はあくまでもイメージですので、設計において変更になる可能性があります。）

施設構成
プラン案

- 1Fに設ける諸室
- ①地域支え合い機能(高齢者支援、市民活動支援)：多世代交流サロン、ワークコーナー、事務室、会議室
 - ②子育て支援機能：子育て支援機能室、相談・見守室
 - ③子供たちの居場所づくり機能：子供居場所機能屋内遊び場、学習室
 - ⑤歴史・文化・教育機能：展示室
 - ⑥商業機能：貸オフィススペース、チャレンジショップ、製販一体型工房、商業機能生鮮三品×3店、マルシェ
 - ⑦基盤機能：駐車場、駐輪場、レンタルサイクル



2Fに設ける諸室

③子供たちの居場所づくり機能：レクリエーション室、音楽室

④健康増進機能：居場所スペース、トレーニングルーム、入浴施設

